



# みすゞが紡ぐ 家族を想ううた

幻の童謡詩人と言われた“金子みすゞ”（1903-30年）は、大津郡仙崎（現・長門市仙崎）で生まれ育ちました。みすゞが詩を書き始めたのは、20歳になり下関に行ってからですが、故郷・仙崎での暮らしや思い出が、詩の題材になったと思われる作品が多く見られます。

今夏、長門市内の文化施設である3館（ルネッサながと・香月泰男美術館・金子みすゞ記念館）で“人を想う気持ち”を共通テーマに連携展を開催します。当館では、最も身近な存在である「家族」に焦点を当て、一緒に暮らしていた母・祖母・兄の詩や、幼くして別れた弟、死別した父を想う詩をエピソードと共に紹介します。

また、戦後仙崎は引揚港に指定され、みすゞと同じく優しい心をもった仙崎の方たちは、地域を挙げて事業を支えました。みすゞが生きていたのは戦前ですが、終戦（8月15日）・引揚げ（9月2日）を含む会期に合わせ、戦後の仙崎にも触れます。

上写真：右から母・祖母・兄・みすゞ・弟・父・娘（当館資料より）

## ☆☆連携講座☆☆

各館が行っている企画展の概要と、“想い”を感じる見所をお伝えします。

- ◆日にち 8月19日(金)・28日(日)
  - ◆時間 10:30~11:30
  - ◆場所 ルネッサながと 会議室
  - ◆参加費 無料
  - ◆予約 7月19日~各開催前日まで
  - ◆予約方法 ①②のいずれか
  - ①電話（ルネッサながと）  
0837-26-6001
  - ②メール（香月泰男美術館）  
muse\_kazuki@kazukiyasuo.com
- ※講座は同一内容です。



## ☆☆ワークショップ☆☆

届け！私の気持ち

ー飛び出すメッセージカード作りー  
本企画展にちなみ、日頃伝えられない大切な人への気持ちを手作りカードで表します。

- ◆日にち 8月14日(日)
- ◆時間 10:00~15:00まで 随時受付
- ◆場所 金子文英堂 2階
- ◆参加費 無料（入館料を含む）

会期：2022年7月2日(土)~9月29日(木)

金子みすゞ記念館

開館時間 9:00~17:00（最終入館16:30）／ 年中無休

Tel 0837-26-5155

〒759-4106 長門市仙崎1308

